



再生医療の今後の展望について

—異種膵島移植医療をめざして—



小玉正太先生

学 歴

平成 2 年 福岡大学医学部医学科 卒業
平成 12 年 福岡大学大学院
病態構造系胆肝膵病態学 卒業

職 歴

平成 2 年 福岡大学外科学第一入局
平成 6 年 愛知県がんセンター中央病院
消化器外科 チーフ・レジデント
平成 12 年 Harvard Medical School, MGH
Postdoctor fellow
平成 15 年 Harvard Medical School, MGH
Instructor
平成 17 年 Harvard Medical School, BWH
Assistant Professor
平成 21 年 福岡大学医学部再生・移植医学
准教授
平成 26 年 福岡大学医学部再生・移植医学
主任教授 現在に至る
平成 27 年 福岡大学医学部寄付講座
応用再生医療開発講座、応用異種
移植発展講座 教授 現在に至る
福岡大学基盤研究所再生医学研究所 所長
(令和 5 年終了)
福岡大学病院 再生医療センター 教授
現在に至る
令和 1 年 福岡大学医学部長・理事
現在に至る

日米医学医療交流財団 理事

日時：2024 年 5 月 19 日（日）9:00～10:00

講演時間：30 分講演／30 分質疑応答

形式：オンライン開催

定員：Zoom 100 名

参加費：無料

中継場所：フェアネス法律事務所

千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル 17F 会議室

プログラム

近年、再生医療が先端医療として注目されています。しかし、現在分野によっては、日常診療に浸透し既存の治療との境界が日々不明瞭となりつつあります。今回、本来組織移植医療として提供されてきた膵島移植に関して、再生医療に包括される同種・自家膵島移植を紹介し、Translational research からの視点から、異種膵島移植医療についての報告を行います。また基礎的研究分野や萌芽研究の重要性と医学研究者人材育成に関わるスキームについても、本財団が今後期待されるべき役割と合わせ、参加者と意見交換を行いたいです。

参加申込み

https://janamef.jp/seminar/webmeeting_may19-24/

